

第13回古町音楽祭を開催！

古町音楽祭実行委員会（新潟市中心商店街協同組合・新潟商工会議所）は、10月9日、古町通5番町の特設ステージで「第13回古町音楽祭」を開催しました。

本イベントは、古町で新しいアーティストや音楽を発掘し、活躍の場を提供してメジャーで輝いてもらうことと、「古町から羽ばたいた」という商店街のイメージアップにより、まちなかの活性化を図ることを目的に行なわれています。

今回は県内各地から30組の応募があり、厳正なる予選審査を勝ち抜いた10組が本選に出場、ピアノ弾き語りの「amamori」さんが見事グランプリに選ばれ、賞金10万円を獲得しました。

九州の伝統とものづくりを学ぶ

工業部会視察見学会

工業部会（渋井信之部会長）は、10月24日から26日にかけて視察見学会を実施し、鹿児島及び熊本の本企業を訪問しました。（参加者14名）

鹿児島の本坊酒造（株）薩摩郷中蔵では、さつま芋「黄金千貫」を原料にした焼酎を製造しており、昔ながらの手造り甕壺仕込み製法を見学しました。

熊本の本田技研工業（株）（ホンダ）熊本製作所では、二輪車や機械工用具のエンジン生産と各部品の組立て工程を視察しました。

ホンダの国内産二輪車は全て熊本製作所で生産・組立を行っており、効率的な生産システムとなっています。また、ホンダ産の二輪車は全世界で30%のシェアを占めており、国内だけでなく海外からも信頼される技術力の高さを学びました。



本田技研工業（株）熊本製作所にて

首都圏の教育・医療など先進施設を訪問

教育福祉医療部会視察見学会

教育福祉医療部会（渡邊毅部会長）は、10月25日、26日に東京方面の視察見学会を参加者17名で実施しました。

25日は、産総研臨海副都心センターの視察を行い、創薬とヘルスケアにお

ける各研究者の成果事例について説明を受けるとともに、創薬分野におけるロボットの活用や、ヘルスケア分野では人工知能等の科学に基づいて研究開発されている製品・サービスにも触れました。

また、がん研究会有明病院では最新設備の整った病棟などを見学。内視鏡診療部や画像診断部、手術室、病理部など、普段は見ることのできない医療の現場を視察しました。

翌26日は（株）内田洋行にて、ICTを活用した最先端の学びの場を、実際に模擬授業を通じて体験したほか、自由な働き方を考えて作られたオフィスフロアの説明を受けました。

JAXA調布航空宇宙センターでは、実験に使用された機体や各種飛行シミュレータ等を見学しました。



創薬分野のロボット研究について説明を受ける参加者

システム建築により自由設計、
ローコスト・短工期を実現！

工場・事務所・倉庫・店舗の建築は
おまかせください！

COSMO コスモ建設株式会社
〒950-0983

新潟県新潟市中央区神道寺2-2-25

TEL025-245-7111 FAX025-245-7119

メールアドレス：info@cosmo-k-co.com

コスモ建設(株) で検索



※(株)住金システム建築
の施工会員です。

夕張・札幌を巡る

～商業部会視察見学会～



「幸福の黄色いハンカチ」ロケ地を見学

商業部会（和田晋弥部会長）は、10月26日、27日の2日間にわたり、参加者11名で視察見学会を実施しました。今回の視察先は、北海道の夕張市と札幌市。夕張市では、財政破綻の背景やその後の取り組みについて説明を聞いたほか、1977年に公開された「幸福の黄色いハンカチ」のロケ地では当時のまま保存されている木造住宅と風にたなびくハンカチを見学しました。また、札幌市では、大通まちづくり（株）の官民連携によるまちづくりに向けた取り組みについて説明を聞くとともに、東西約1kmにわたって200店舗余が軒を連ねる札幌狸小路商店街を視察しました。

インバウンドや観光客が増加する中で、その中心部には観光案内所兼、防犯の役割も担う「狸小路都心民間交番」が設置されており、参加者は新潟にはない施設に関心を寄せていました。

女性会

全商女性連 北海道全国大会に参加

「全国商工会議所女性会連合会第49回北海道全国大会」が、10月6日、7日に札幌市で開催され、全国から約2700名が集まり、当所女性会（田中久美子会長）からは8名が参加して全国各地の女性会メンバーと情報交換を行うなど交流を深めました。



参加した女性会メンバー（会場：北海道立総合体育センター）

開会式では、日商の三村会頭が「我が国が成長するためには、働き方改革

やITを活用した生産性向上など、新たな投資や成長に挑戦していく必要があり、女性ならではの発想と実行力は、成長のための重要な鍵である。今後も各地域の経済や文化など様々な分野における女性の活躍をけん引してほしい」と挨拶しました。

その後、全商女性連表彰授与式などが行われ、当所女性会は組織強化（会員増強）において顕著な成績を挙げ、全商女性連会長の表彰を受けました。

話し方を学ぶプレゼンセミナーを開催

～中小企業振興月間事業～

当所では、毎年10、11月を中小企業振興月間と位置づけ、各種セミナーや相談会を集中的に実施しています。本事業の一つとして10月17日、（株）CH E R F U L代表取締役の沖本るり子氏を講師に「接客・営業プレゼンセミナー」を開催しました。参加者は89名。沖本氏は、「業務の効率化には円滑なコミュニケーションが必要である」と説明した上で、上手に話を伝えるためのコツとして、特に話し手は聴き手の立場に立って話すことが重要だとし、自己紹介などの際は、まず結論から先に話すことで、相手により伝わりやすくなると解説しました。

受講者からは、「話し方の考え方が整理された」「話し方を考えるきっかけになった」などの感想が寄せられました。

紅葉とワインを満喫

～商工クラブ秋の旅行～

新潟商工会議所会員の親睦団体である商工クラブ（理事長・南波秀憲副会長）は、10月31日から11月1日の1泊2日で、山梨県の各名所を巡る秋の旅行を参加者9名で実施しました。

初日は山梨県立リニア見学センターでリニア実験線での走行試験を見学したほか、大正時代にワイン醸造販売を手掛けたワイナリー・サドヤにてワインセラーの見学や試飲などを楽しみました。

翌日は、日本一の渓谷美と呼ばれる昇仙峡で紅葉狩りを楽しんだ後、武田神社や信玄餅の桔梗屋工場を見学し、山梨の秋の自然や観光地を存分に満喫した旅となりました。



サドヤワイナリーにて